

## 「地域連携シンポジウム」「第2回岐阜県地域づくり型生涯学習総合推進会議」出席者アンケート

出席者数	回答数	回答率
68 (大学教職員：33、市町村・県：23、一般・学生：12)	39	57.4%

### 1 本日のプログラムについて

#### (1) 講演「大学と地域とのパートナーシップ」は、いかがでしたか？

	大変有益であった	有益であった	どちらでもない	有益でなかった	※無回答
合計	8 (20.5%)	26 (66.7%)	4 (10.3%)	0	1 (2.6%)
①市町村職員・県職員	1 (8.3%)	6 (50.0%)	4 (33.3%)	0	1 (5.9%)
②大学教職員	3 (14.3%)	17 (81.0%)	0	0	0
③一般・学生	4 (57.1%)	3 (42.9%)	0	0	0

#### <その理由は？>

##### ①市町村職員・県職員：

- ・連携協力についてやコンソーシアムについて、学ぶことができた。
- ・地域のボランティアコーディネーターの育成が課題となっているので、すごく参考になった。
- ・具体的にどうあるべきかの方向性を示していただけるとありがたかった。
- ・広すぎてむずかしいと思う。

##### ②大学教職員：

- ・パートナーシップにおける考え方が学べた。具体的な話があると理解しやすかった。
- ・現在の大学の課題がいぶしだされたと思う。
- ・今後の展望の指針が理解できた。
- ・連携協力の理論について学べた。
- ・連携の必要性について理解が深まった。
- ・大学と地域の連携の歴史、欧米と日本の違い等、興味深く拝聴できた。

##### ③一般・学生：

- ・地域に求められていることがより実感できた。
- ・大学のニーズ、地域のニーズ、それぞれをお互いが発信しなければならないことがよくわかった。
- ・取組事例を知ることで自分のできる可能性を感じた。
- ・問題を含め、大学と地域がどのように考えているのかがわかった。
- ・方向性やまとめに活用できるお話であった。

- ・全体の87.2%が「有益であった」と回答しているなかで、特に大学教職員、一般・学生の評価が高かった。
- ・連携の必要性についての学術的裏付けを確認する機会になったという感想が寄せられている。

#### (2) 事例報告①「大学の取組」は、いかがでしたか？

	大変有益であった	有益であった	どちらでもない	有益でなかった	※無回答
合計	11 (28.2%)	26 (66.7%)	1 (2.6%)	0	1 (2.6%)
①市町村職員・県職員	4 (33.3%)	8 (66.7%)	0	0	0
②大学教職員	6 (28.6%)	13 (61.9%)	1 (4.8%)	0	0
③一般・学生	1 (14.3%)	5 (71.4%)	0	0	1 (14.3%)

#### <その理由は？>

##### ①市町村職員・県職員：

- ・大学でどのような事業や取組が実施されているのかがわかった。
- ・それぞれの得意分野を生かした活動をことがわかってよかった。
- ・大学との連携が必要であると改めて感じた。
- ・当市でも参考にしていきたいと思った。
- ・もう少し、事例があるとよかった。

②大学教職員：

- ・学生の声を聴く機会はなかなかないので、学生の言葉で実態を掴めたのがよかった。
- ・若者の力を活用した大学(学部)全体としての地域連携の実践報告は参考になった。
- ・ゼミ単位でかなり積極的に動かれていて参考となった。
- ・具体的な事例報告でユニークであり、活動内容が理解できた。
- ・地域でのフィールドワークを伴ったよい例として参考となった。
- ・大学にとってもメリットのあることしかできないであろうと思う。
- ・OHP資料数の制約があったためか小さくて見にくかった。岐阜大学・朝日大学の活動は、継続性があり成果が大きいと思う。

③一般・学生：

- ・発表の経験そのものが自分自身の成長につながったと思う。学生ボランティアに関しては、今後も考えていきたい。
- ・今まで知らなかった取組がわかった。
- ・学生の実地体験はよい学びであると感じた。

・全体の94.9%が「有益であった」と回答している。  
 ・大学の具体的な取組を知る良い機会となったとの感想が寄せられ、特に、学生による事例報告は活動者の”生の声”であり、非常に高い評価を得た。

(3) 事例報告②「市町村の取組」は、いかがでしたか？

	大変有益であった	有益であった	どちらでもない	有益でなかった	※無回答
合 計	7 (17.9%)	29 (74.4%)	3 (7.7%)	0	0
①市町村職員・県職員	3 (25.0%)	9 (75.0%)	0	0	0
②大学教職員	3 (14.3%)	15 (71.4%)	2 (9.5%)	0	0
③一般・学生	1 (14.3%)	5 (71.4%)	1 (14.3%)	0	0

＜その理由は？＞

①市町村職員・県職員：

- ・どのような活用方法があるかがすこしわかった。
- ・地域づくり型生涯学習の実践について学ぶことができた。
- ・他の市町村の取組を知ることができ、大変参考になった。

②大学教職員：

- ・大学という場を離れて、地域連携について知ることができた。
- ・活動の存在と内容がよく理解できた。広報の活発化を期待する。
- ・自治体の取組事例を知る機会となった。
- ・大学コンソーシアムとの連携について、各大学の特徴、専門性との整合の必要性を感じた。

③一般・学生：

- ・市町村での取組について知ることができ非常によかった。
- ・何か手伝えるきっかけはないかと感じた。
- ・取組の課題や反省があるとよかった。

・全体の92.3%が「有益であった」と回答している。  
 ・地域づくり型生涯学習の具体的な取組事例の報告であり、特に、市町村職員・県職員には 非常に高い評価を得た。

(4) ワークショップ「市町村と大学の連携から何をめざすべきか」は、いかがでしたか？

	大変有益であった	有益であった	どちらでもない	有益でなかった	※無回答
合 計	12 (30.8%)	21 (53.8%)	3 (7.7%)	0	3 (7.7%)
①市町村職員・県職員	4 (33.3%)	8 (66.7%)	0	0	0
②大学教職員	6 (28.6%)	12 (57.1%)	1 (4.8%)	0	1 (4.8%)
③一般・学生	2 (28.6%)	5 (71.4%)	0	0	0

＜その理由は？＞

- ①市町村職員・県職員：
- ・大学や大学生の声を聴くことができ、活動をつくりだすために考えるべきことがわかってきた。
  - ・学生の生の声を聴くことができ有益であった。
  - ・それぞれの課題や望んでいることがわかり、内容の濃いものとなって、大変有益であった。
- ②大学教職員：
- ・結論が総花的になってしまいがちになるため、もう少し課題を整理してから進めるべきと感じた。
  - ・各自治体・大学の取組、悩みを知る機会となった。
  - ・地域連携のための組織、窓口、コーディネーターの必要性を改めて感じた
  - ・大学、市町村の両者のすれ違いの認識、相互の情報交換の必要性を実感した。
  - ・相互のメリットが必要で、これをコーディネートできる組織が大切であると感じた。
  - ・大学でも市町村からのすべての申込みに対応できるわけではなく、検討が必要となる。
  - ・各自治体の要望がわかったことや各大学の取組を知る良いきっかけとなった。
- ③一般・学生：
- ・学生自身にも考えるべき課題が見つかった。
  - ・大学の先生方や行政の方々の考えを知ることができたので、今後の大学生活に生かせる部分があると感じた。
  - ・学生の普段の状況を伝えることができた。
  - ・連携体制をつくる必要性がわかった。
  - ・行政関係者や大学教官の普段では聞けない意見が聞けて、有益だった。
  - ・大学のない町村はどうするのか疑問をもった。

・全体の84.6%が「有益であった」と回答している。  
 ・大学担当者と行政担当者が相互に意見交換することの必要性が認識された。

(5) 【市町村職員・県職員のみ対象】

①今後、大学との連携の意向はありますか？

	ある	どちらかといえはある	どちらかといえはない	ない	※無回答
合 計	2 (16.7%)	8 (66.7%)	0	0	2 (11.8%)
①市町村職員・県職員	2 (16.7%)	8 (66.7%)	0	0	2 (11.8%)

＜大学との連携を希望する案件＞

- ・地域が地域を大切にしなければいけないという意識の高揚を図る講習。
- ・各種行事等への参加。
- ・トータル的なコーディネートをしていただけるとおもしろい。

・無回答を除くと回答のあった市町村は、連携の意向をもっている。

(6) 本日の会議全般の印象は、いかがでしたか？

	大変有益であった	有益であった	どちらでもない	有益でなかった	※無回答
合 計	8 (20.5%)	18 (46.2%)	0	0	13 (33.3%)
①市町村職員・県職員	4 (33.3%)	6 (50.0%)	0	0	2 (11.8%)
②大学教職員	3 (14.3%)	9 (42.9%)	0	0	8 (38.1%)
③一般・学生	1 (14.3%)	3 (42.9%)	0	0	3 (42.9%)

＜その理由は？＞

- ①市町村職員・県職員：
- ・今までどういものか漠然としていたことが、少しわかってきた。
  - ・前向きな意見をたくさん聞くことができ、有益であった。
  - ・大学側の地域と関わろうとする意向を強く感じることでよかった。

②大学教職員：

- ・基調講演やワークショップを通じて、立場の異なる方々からいろいろな話題提供を受けることができ、有益であった。
- ・グループディスカッションは充実したものであった。
- ・事例を紹介していただくことで、地域連携について考えていくきっかけができた。

③一般・学生：

- ・連携に向けて進んでいることが実感できた。
- ・理論と実践の組み合わせ、地域の活動に活用できそうで、とても有益であった。

- ・無回答を除くと全体の100%が「有益であった」と回答している。
- ・グループワークショップでのディスカッションが異なった立場の意見を聴くことができ有益であったとの感想が多く、概ね参加者の満足度は高い。

2 その他

(1) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜の印象は、いかがでしたか？

	大変関心がある	関心がある	どちらでもない	関心がな	※無回答
合 計	4 (10.3%)	26 (66.7%)	1 (2.6%)	0	8 (20.5%)
①市町村職員・県職員	0	10 (83.3%)	0	0	2 (11.8%)
②大学教職員	2 (9.5%)	11 (52.4%)	1 (4.8%)	0	6 (28.6%)
③一般・学生	2 (28.6%)	5 (71.4%)	0	0	0

- ・無回答を除くと、多くの参加者は関心を寄せている。

(2) ご意見・ご要望など（次回会議に期待する内容など）

<全般について>

- ・地域に何ができるか、何をすべきか、何をしていくべきか。手をつなぐだけではない大きな目標・目的(ビジョン)がこの会議にあってもよいのではないか。(市町村)
- ・もっと話し合いの時間があればよかった。(市町村)
- ・学生さんには地域に学ぶことの大切さを理解してほしい。(市町村)
- ・大変勉強になった。そして、他大学のコーディネーター職員と交流したいと思った。(大学)
- ・もっと学生を導入できるといいと思う。(大学生)
- ・連携のため、今後も様々な人々を巻き込んで取り組んでほしい。(大学生)

<次回会議について>

- ・今回のように、具体的事例が学べるようにしてほしい。(市町村)
- ・トップダウンのやり方からボトムアップへ、地域活性化のための事例研究を増やし、「地域の人材」発掘の手法、また、その組織化の方法等を取り扱うとよいのでは。(一般)

<コンソーシアムについて>

- ・今後、何をどのように生かすか。コンソーシアムより提案があるとよい。(大学)
- ・活動をボランティア・NPOに頼る傾向から、事業として一歩出ることが必要ではないか。産官学の3分野の構成(参加)を考えてほしい。(大学)
- ・今後コンソーシアムに参画できるのか検討していきたい。give&giveのボランティアか、give&takeの大学が難しい。事務局の受付、コーディネート力の強化が必要である。(大学)
- ・より社会に関われるような授業に関心があるので、岐大での(共同)授業を増やしてほしい。(大学生)